

園だより 11月号



YMCA オリーブ保育園

2018年11月1日 発行

園長 矢野 久美

今月のねがい

- *木の実や落ち葉などの自然にふれる中で、五感を通して季節を感じる。
- *思いや主張を受け止めてもらいながら安心して生活する。

『やのさん、ちょっときて!』と、ある朝5歳児の女の子に連れて行かれたのは、その子の靴箱の前でした。『これ見て!』と指をさした先を覗いてみると、どんぐりやまつぼっくりで中がいっぱいになっていました。『わー!すごーい!』と朝から何だかとてもあたたかい気持ちになって、他の子の靴箱も覗いて見ると、どんぐりはもちろん、色とりどりの木の実や小枝やたくさんの宝物が、子どもたちの靴箱の中を占領していたのです。お散歩のたびにポケットの中に一生懸命しまいで込んで、子どもたちみんなで保育園に秋を運んでくれていたようです。気が付けば深まってゆく秋を迎えていた事を、子どもたちに教えてもらった朝でした。10月は後半になって晴れの日にめぐまれ、どのクラスも元気よくお散歩に出かけ過ごしました。一年の半分か過ぎると、子どもたちはクラスごとに本当によくまとまってきました。お友だち同士の関わりも深まっていき、どの子の表情を見ても保育園がまるで“もうひとつの我が家”のように自分を十分に出せている場所のように見えて、とても嬉しく思います。そんな中、0歳児のクラスに何度か入る機会がありました。夕方保育者が絵本を手にするると『早く読んで!』と声が聞こえてきそうなほど、瞳を輝かせてちょこんと12人全員が保育者の前に座ります。絵本の歌や言葉のリズムに合わせて、からだを左右に揺らしたり、読み終わると小さな手をあわせて拍手したり、人差し指を一本立てて『もういっぱい』の仕草をしたり、この数ヶ月間の大きな成長を見ることができました。その中の一人の子のお母さんがお迎えに来ると、少しだけ歩けるようになった子がお母さんに向かって10歩ほど歩行を披露しました。その場にいた保育者や、他の子のお母さんたちみんなから拍手を受けている場面は、微笑ましく心地良い空間でした。たくさんの人たちの愛情の種が、しっかりと植えられたたんぼぼ組(0歳児)の子どもたちのこれからがとても楽しみです。だんだんと寒い季節に入っていきますが、一人ひとりの成長を保護者の皆さんや保育者みんなで共に喜び合いながら、オリーブ保育園の中をあたたかな空気でいっぱいにしていきたいと思います。



収穫感謝祭

17世紀の初めイギリス教会の激しい迫害を受けたクリスチャンの人々は、オランダに逃れました。そこでも迫害されたため信仰の自由を求め、老朽船のメイフラワー号に乗って120名がアメリカを目指し大西洋を渡りました。途中嵐にあったり水や食べ物の不足に悩みながら3ヶ月かかって厳冬のマサチューセッツ州プリマスに上陸しました。寒さと餓えて50人がなくなりました。春になり近くに住むネイティブアメリカンたちが種を分けてくれたり農耕や狩猟の仕方を教えてくれ、秋に収穫が得られたことから彼らはネイティブアメリカンを招いて感謝の礼拝を捧げ食事をともにしたのが収穫感謝祭の始まりといわれています。私たちは毎日食べ物に不自由することなく生活していますが、その食べ物である穀物、野菜、果物を与えてくださる神様に感謝するときを全体クッキングを通して子どもたちと持ちたいと思います。

11月のスケジュール



食育

日にち	曜日	行事
1日	木	英語1・2歳
2日	金	芋ほり遠足 3・4・5歳
6日	火	身体測定
7日	水	体操4・5歳
8日	木	英語4・5歳
12日	月	幼児礼拝(収穫感謝祭)
14日	水	歯科検診
15日	木	英語であそぼう2・3歳
16日	金	内科健診
17日	土	YMCAチャイルドケア事業全体研修
19日	月	避難訓練(消防訓練)
20日	火	全体クッキング
21日	水	体操4・5歳
22日	木	ギターコンサート 誕生会 MG会
28日	水	アドベント礼拝
29日	木	英語4・5歳

全体クッキング

収穫感謝祭

★さくら組さんが1年前ゆり組の時に仕込んだ味噌を使って、全クラスが参加してすいとん汁を作ります。具をちぎったり様々な形で料理に参加します。

★2日に3,4,5才で芋ほり遠足に行きます。掘ってきたサツマイモを子どもたちが調理したりしておやつで食べます。やきいも大会はおいもを使ったクッキングをします。日程はクラスごとになります。



お知らせ

◆ギターコンサート 22日(木) 武井 裕晃氏によるギターコンサートがあります。

お願い

- ◆感染予防の為、11月より幼児クラスのコート類は、用意してある袋にお入れ下さい。
- ◆日没が早くなってきました。降園時に門から出る際は自転車にお気をつけください。

